

東村山 生活者ネットワーク

政治は生活を良くする道具
日々の暮らしからの声と市政をつなぐ



小さな「あい」がぎゅっと詰まった 「はあもにい」の存在!



市議会議員
大塚恵美子



市議会議員
白石えつ子



千葉県千葉市緑区にある就労継続支援事業所「はあもにい」を国分寺、東村山・生活者ネットワークで見学。立ち上げのきっかけは代表の長浜光子さんが、障がい児を育てるお母さん達と居場所を求めて始めた放課後等デイサービス。社会で様々な障がい理解され、必要なサポートがあれば、障がいは不都合ではなくなります。共に生きる社会を実現するために、誕生しました。

働きがいのある人間らしい「仕事場」

「はあもにい養蜂部」「はあもにい農業部」「お菓子工房はあもにい」「コミュニティカフェ(ふらっと)」は、彼らの多様性に合わせた工夫が随所にあります。急がされず、ゆっくり、自分のペースで働けることは、すべての人に有効です。笑顔で仕事に取り組む姿勢は、自分が必要とされて

いるんだという自信にもつながっていると感じました。

ランチをいただいた「コミュニティカフェ」は、心理カウンセラーが常駐し、お茶を飲みながら悩みなどを気軽に話せます。障がい当事者の保護者もピアサポーターとして関わり、これまでの経験が生かせる空間にもなり、ふらっと立ち寄れる地域の居場所になっています。

福祉就労者の貧困を解決へ

障がい者で福祉就労、企業就労できている割合は、わずか11%。作業所での仕事は福祉就労といわれ、1か月の工賃(賃金に相当するもの)は平均約1万4千円、障害基礎年金2級(年間77万2800円)を足しても、OECDの定める貧困線112万円に届きません。「はあもにい」では、H25年度平均1か月工賃5万円に年金をプラスし年間所得137万円で、貧困線を越えています。

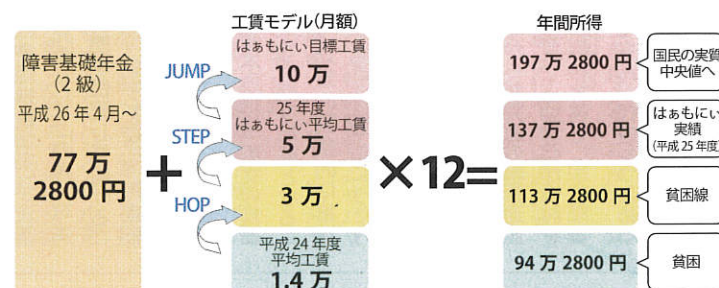
独自のステップアップ制度

利用者のうち8名はA型雇用契約を結び、千葉県の最低賃金@868円を支給しています。雇用契約のない7名のB型

利用者(工賃@434円)には、希望すれば、最短1か月~最長2年をかけてA型雇用へ移行する自立への道が開かれています。注目すべきは、スタッフ側への雇用もおこなわれていることです。更なるステップアップで可能性は無限大です。

長浜光子さんは「障がいのある子ども達は、障がいを望んで生まれてきたものではありません。障がいの特性を引き受けて生まれてきてくれたホントに優しい存在」と表現され、障がいの子どもを育てる方々の心を穏やかにしていると感じました。そして、「誰もが人間らしく働く場は実現できる!」と、勇気をもらいました。(白石えつ子)

● 障害者の年間所得の現状 (はあもにい HPより)



障害のない人の可処分所得 国民の中央値・・・224万
OECDの定める指標による貧困線=中央値の1/2・・・112万

市議会議員

大塚恵美子

詳細はこちら
http://otsuka.seikatsusha.me/
twitter: @otsukaemiko
Facebook: emiko.otsuka.186



3月 東村山市議会報告 生活者ネットワーク 一般質問より

市議会議員

白石えつ子

詳細はこちら
http://shiraishi.seikatsusha.me/
Facebook: 白石えつ子



「誰でも当事者」、空家等対策計画について
住宅政策の無秩序が世帯数を上回る供給過多をうみ、空き家が社会問題となっている。東村山市では空き家等実態把握調査が報告され、対策計画が公開された。「空き家と生活困窮」を視野に、必要とする人を結びつける施策が必要だ。

障がい者がいきいき働ける社会の実現！
障がいの工賃水準を引き上げ、障害年金や社会保険給付等の収入と合わせ、地域で自立した生活が送れるよう策定された「東京都工賃向上計画」の推進について質問しました。

思いがけない妊娠を防ぐための性教育を！
お互いのいのちの大切さを学ぶために必要な性教育の現状について質問しました。

障がい者がいきいき働ける社会の実現！
障がい者本人がフリースターになる「DEET障害平等研修」で障がいは社会が問われていることなどを学ぶワークショップに参加。

求められている既存空き家の流通促進、利活用には具体策が見えない。所有者の82%に貸出す意向がないことが明らかになったが、残りの18%に利活用の働きかけを早急に行なうべきだ。

性性と子どもの貧困連鎖は解消されるのか
生活保護費の引下げが段階的に行われることになり、67%の保護世帯が減額となり影響を受ける子どもは27万人とされる。

思いがけない妊娠を防ぐための性教育を！
性教育の段階で、学習指導要領に沿った性教育は養護教諭を中心に体の変化や妊娠・出産だけでなく赤ちゃんふれあい授業や特別授業を活用した取り組みが行われています。

障がい者本人がフリースターになる「DEET障害平等研修」で障がいは社会が問われていることなどを学ぶワークショップに参加。

母子家庭の就労率は80%と高いが非正規雇用が低収入につながっている。しかし、生活保護受給世帯の母子家庭の比率は14%と、想定される50%をはるかに下回り、児童扶養手当のカバーによって生活している実態がある。

障がい者がいきいき働ける社会の実現！
障がいの工賃水準を引き上げ、障害年金や社会保険給付等の収入と合わせ、地域で自立した生活が送れるよう策定された「東京都工賃向上計画」の推進について質問しました。

思いがけない妊娠を防ぐための性教育を！
性教育の段階で、学習指導要領に沿った性教育は養護教諭を中心に体の変化や妊娠・出産だけでなく赤ちゃんふれあい授業や特別授業を活用した取り組みが行われています。

障がい者本人がフリースターになる「DEET障害平等研修」で障がいは社会が問われていることなどを学ぶワークショップに参加。

自立の言葉でされたら嫌なことを拒否することが困難です。性被害に遭う可能性を防ぐためには、子どもの3つの権利「いや」という「その場を離れる」「相談する」「権利を大切にすること」が重要だ。

障がい者がいきいき働ける社会の実現！
障がいの工賃水準を引き上げ、障害年金や社会保険給付等の収入と合わせ、地域で自立した生活が送れるよう策定された「東京都工賃向上計画」の推進について質問しました。

思いがけない妊娠を防ぐための性教育を！
性教育の段階で、学習指導要領に沿った性教育は養護教諭を中心に体の変化や妊娠・出産だけでなく赤ちゃんふれあい授業や特別授業を活用した取り組みが行われています。

障がい者本人がフリースターになる「DEET障害平等研修」で障がいは社会が問われていることなどを学ぶワークショップに参加。

国内における自治体議員の女性比率は上がり、東村山市議会での比率は40%を超えた。しかし、女性議員ゼロ議会もあり、国会議員の女性比率は10%に過ぎず、193カ国中158位だ。そのことがジェンダーギャップ指数141位の大きな要因でもある。

障がい者がいきいき働ける社会の実現！
障がいの工賃水準を引き上げ、障害年金や社会保険給付等の収入と合わせ、地域で自立した生活が送れるよう策定された「東京都工賃向上計画」の推進について質問しました。

思いがけない妊娠を防ぐための性教育を！
性教育の段階で、学習指導要領に沿った性教育は養護教諭を中心に体の変化や妊娠・出産だけでなく赤ちゃんふれあい授業や特別授業を活用した取り組みが行われています。

障がい者本人がフリースターになる「DEET障害平等研修」で障がいは社会が問われていることなどを学ぶワークショップに参加。

生活者ネットワーク3つのルール
1 議員はローテーション ■ 生活者ネットワークの議員は最長でも3期12年で交代し、議員を職業、特権化しません。ローテーション後は、市民活動などに経験を生かします。

2 議員報酬は市民の活動資金に ■ 議員報酬は市民の政治活動資金として使い、お金の流れはすべて公開します。

3 選挙はすべて手作り
選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

カンパで応援隊 募集中! カンパ1口1,000円 郵便振替 加入者名/東村山 生活者ネットワーク 記号:00190-7 番号:280305 会員・賛助会員 募集中! TEL/FAX 042-392-7677



2/25

「ペラダソーラーを作ろう！」企画を生活クラブ運動グループ東村山地域協議会と「東村山エナジー」が共催。我が家の50Wの小さな発電所から、毎日、スマホを充電、嬉しい!



3/8

国際女性デーの「ウィメンズマーチ東京」にバナーを掲げて参加。ピンクハットで青山通り、表参道、明治通りを750人の女たちが小雨にもめげずアピール!

まちカフェ日記



3/21

高齢介護課が主催した初の「65歳からのマッチングイベント」に「まちの縁がわ・美住」が出席。40のブースが互いに情報交換し、楽しい交流の機会に。



4/2

世界自閉症啓発デーに久米川駅前で開催された「Light it up Blue」セレモニーに参加。準備したいくつものパオは夕間にブルーの明かりを灯し、ハンドベルの響きが流れた。



4/10

72年目の「女性参政権行使記念日」。「政治分野における男女共同参画推進法」成立に男女均等の期待をこめ161人の女たちが院内集会を開催。クオータ、パリテで女も男も自由に!



2/10

東村山・生活者ネットワークの議会報告会を「まちの縁がわ・本町」で開催。12月議会一般質問や常任委員会報告と参加者との意見交換をおこないました。



2/14

東村山・生活者ネットワークの議会報告会を「まちの縁がわ・本町」で開催。12月議会一般質問や常任委員会報告と参加者との意見交換をおこないました。

はじめての一步カレンダー



2/23



3/23



3/30

東村山市議会主催の議員研修「地域共生社会と障害者差別解消法をテーマに社会事業大学永島教授から障害者差別の歴史を学びました。」

2018年度予算案に反対を表明

人材派遣会社との公民連携の急展開に疑問消えず

3月議会、予算特別委員会における民生費「憩いの家」委託事業の質疑において、過去の入札、経費増額の推移、事業内容への質疑で、答弁が成立しないなどの状況で断続的に中断し、深夜までの審議とともに延会となった。市長が当該予算の不適切を認め、予算案の修正が諮られ、本会議も会期延長となった。

予算案の一部修正は納得したが、一般会計全般については「ともに生きよう！ネットワーク」会派内で議論を重ねながらも賛否が分かれた。人材派遣会社との公民連携の急展開に疑問が解消できず、東村山・生活者ネットワークは反対討論を行い、予算案を否決した。

地方創生や働き方改革を意識し、郊外都市での就労支援を人材派遣会社パーソルテンプスタッフ(株)と公民連携で共同研究し、2018年夏には市民センターにおいて「ジョブシェアセンター」を開設するというものだ。

手狭な行政財産の一部を民間会社に貸し、同じフロアにある生活困窮者自立支援相談窓口ほっとシティ、ハローワーク情報室、障害者就労支援室とのつながりが期待できることだが、同じフロアにあることがワンストップサービスではなく、多機関の協働による包括的支援体制の構築こそが望まれる。

とりわけ先行して進めてきた女性就労支援との連携は課題である。

会派として公共のあり方について積極的に議論してきたが、ジョブシェアセンター開設は急ぐことなく、手順を丁寧に踏んで進めるべき課題といえる。

労働・就労分野を行政が単独で行うことは確かに難しいが、雇用先の開拓など市内で人や利益が循環できる地域内経済の仕組みづくりを派遣企業のノウハウで進められるのか？短時間勤務の非正規雇用を増やすのではなく、自立可能な働き方や起業支援も視野にいなければならない。庁内理解を得られなければ、市民の理解も得られない。「憩いの家」の問題を見れば、個別のチェックが効かなくなる懸念は消えない。

会派の判断はわかれたが、議論し討議で考え方を明確に示した。議会内で「会派が予算案に一致できない判断は許されず、会派としての体をなさない」との指摘があるが会派にそのような拘束があると解釈しないし、市民利益にならないとは思わない。一般会計予算全体に反対せざるを得ないことは悩ましい判断であり、勇気もある。しかし、市民に向けて考え方や議論のプロセスを明らかにし説明が果たせること、それが議員の責務ではないかと思う。

(大塚恵美子)

都議会報告

迷惑防止条例改正はアブナイ!

～市民の活動を制限しかねない改正、なぜ今～

東京都「迷惑防止条例」改正案が今定例会で上程されました。今回の改正で大きく問題なのは、「つきまとい行為等」「みだりにうるつくこと」「監視していること」などの規制する行為(事例)を追加することです。2016年に改正されたストーカー規制法に合わせるため、としています。

ところがストーカー規制法では恋愛感情が発点にあるのに対して、迷惑防止条例改正案の場合は、元から「悪意の感情」を目的としており、社会的な抗議行動についても「うるつく」行為や「監視」行為として規制対象となるのではないかと懸念が広がっています。警視庁は、「濫用防止規定があり、政治や組合活動、

報道などは対象にならない」としていますが、運用者の裁量によって拡大解釈されかねず、警察の介入を容易にすることに市民は危機感を募らせています。

現在ある規定でも、つきまといや乱暴な言動などの行為は規制できるにもかかわらず、なぜいま規制行為を追加する必要があるのかおおいに疑問です。

生活者ネットワークは、市民の自由な活動を制限しかねない条例改正には反対です。



都議会・生活者ネットワーク
山内れい子(国立市・国分寺市)

DVD上映会

お知らせ 種子法学習会 第3弾

日時 6月20日(水)13時～15時 中央公民館第3集会室 資料代200円



種子 みんなのもの？それとも企業の所有物？

国会での簡単な審議を経て、主要農作物種子法(以下種子法)が4月に廃止されてしまいました。稲・麦・大豆の管理を国に義務付けていたものが、これで食料の供給や価格高騰、大企業による食の支配、種による多様性が失われることなどが懸念されています。

東村山市の3月議会でも「主要農作物種子法廃止を機に、食糧主権と農民の権利を実現する新たな法律を求める陳情」が審議されましたが、種子法の重要性が理解されず不採択となりました。

都市農業が盛んな私たちのまちだから、もっと種子について理解を深めたい。世界で起こっている事から、私たちにできることをこの映画をみて考えましょう。

編集後記 地球温暖化の影響が、季節が1か月以上前倒しになっているようで、あっという間に桜も終わってしまった。パリ協定に関する話を伺う機会があり、日本の企業もCO2削減に向けてビジネスチャンスと捉えて真剣に取り組んでいる様子を頼もしく思った。一方、最近見た映画で『おだやかやかな革命』では、市民がエネルギー問題とまちづくりに取組み姿勢が感動的だった。逆行しているとも思える国の動きをよそに、今や市民主導の動きになりつつあるようだ。(順)